

⑧ 樹木観察会「この木なんの木」

(日) 10:00~12:00

中高

10:00に材鑑調査室前集合 小雨決行

(小雨の場合雨具(カッパ、ポンチョみたいなもの、傘は×)をご持参下さい)

宇治キャンパス内の樹木を見て回り、葉っぱや樹皮で見分ける方法を解説しながら、木材としての利用についても紹介します。

公開ラボ

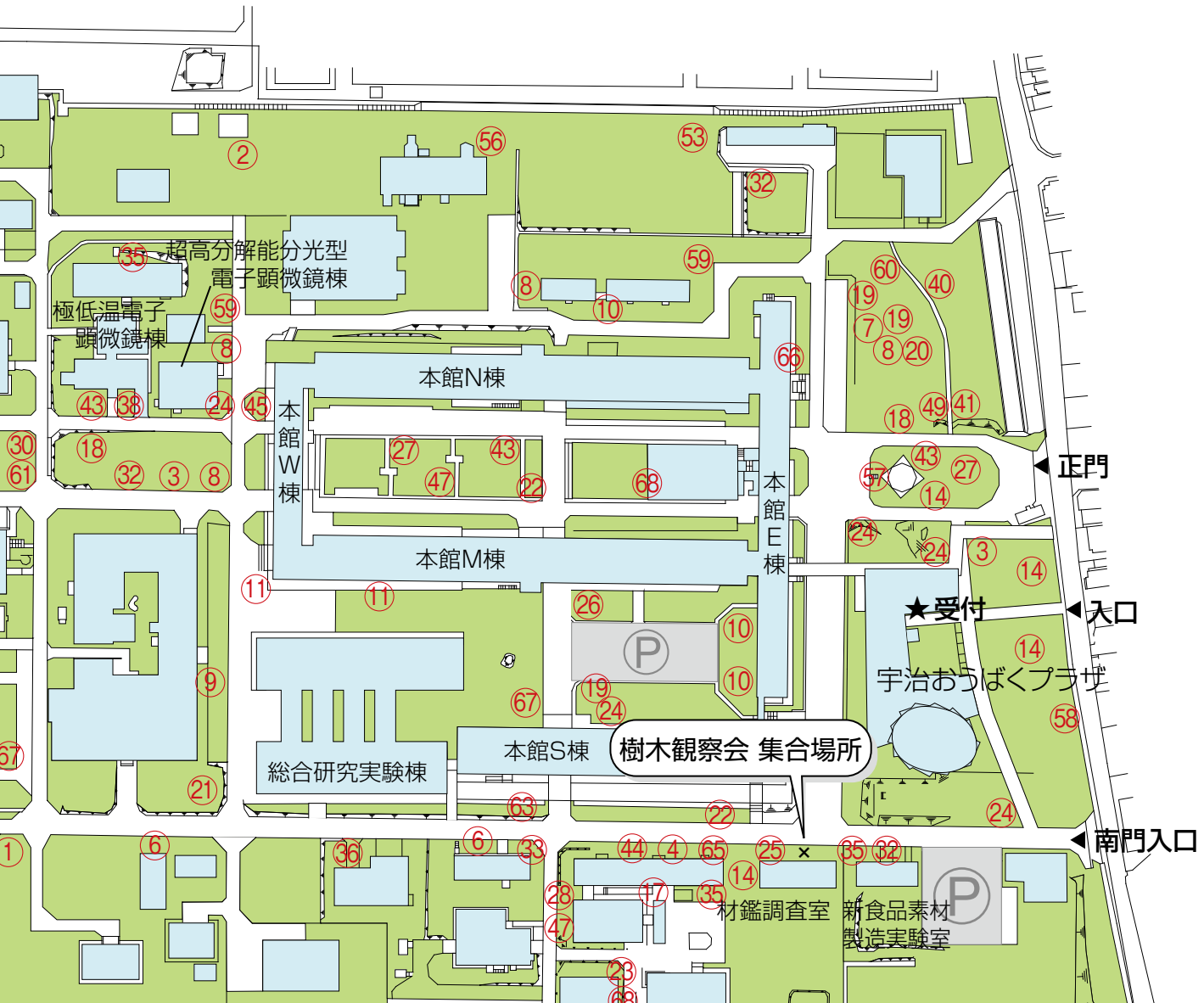


キャンパス内には樹木のプレートを設置し、和名、英名、学名、主な用途が記載しているものがあります。構内を散策がてらご覧下さい。

① アオギリ	⑩ オオカナメモチ	⑲ クスノキ	②⑧ スダジイ	④⑨ ハリエンジュ
② アキニレ	⑪ カイズカイブキ	⑲ クスノキ	③⑤ センダン	⑤② ヒヨクヒバ
③ アラカシ	⑫ カツラ	⑲ クスノキ	③⑥ ソテツ	⑤③ ピワ
④ アラスカヒノキ	⑬ カンレンボク	⑲ クスノキ	③⑦ タブノキ	⑤⑤ ホソイトスギ
⑤ イチョウ	⑭ キハダ	⑲ クスノキ	③⑧ トウカエデ	⑤⑥ ポプラ
⑥ イロハモミジ	⑮ キャラボク	⑲ クスノキ	③⑨ トウネズミモチ	⑤⑦ マサキ
⑦ ウバメガシ		⑲ クスノキ	④⑩ トベラ	⑤⑧ マルバヤナギ
⑧ エノキ		⑲ クスノキ	④① ナナミノキ	⑤⑨ ムクノキ
⑨ エンジュ		⑲ クスノキ	④② ナワシログミ	⑥⑩ メタセコイヤ
⑩ オオカナメモチ		⑲ クスノキ	④③ ヌマスギ	⑥① モチノキ
⑪ カイズカイブキ		⑲ クスノキ	④④ ヌルデ	⑥③ モミ
⑫ カツラ		⑲ クスノキ	④⑤ ネズミモチ	⑥⑤ ヤマグワ
⑬ カンレンボク		⑲ クスノキ	④⑥ ネムノキ	⑥⑥ ヤマハゼ
⑭ キハダ		⑲ クスノキ	④⑦ ハナミズキ	⑥⑦ ヤマモモ
⑮ キャラボク		⑲ クスノキ	④⑧ ハマボウ	⑥⑧ ユリノキ

キャンパス樹木散策マップ

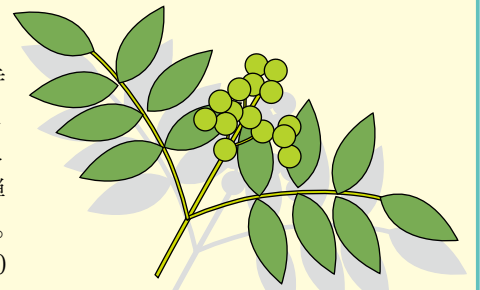
公開ラボ



「きはだ」のお話

中国の福建省、キハダ(黄檗)の木が生い茂る黄檗山に萬福寺というお寺がありました。そこにおられたのが隠元禅師。明から清王朝への変遷にともなって衰退する萬福寺の状況と、禅宗の立て直しにと禅師を日本に招こうという徳川家の思惑とが奏して、禅師の来日が実現します。1658年、禅師は4代将軍家綱にまみえ、その翌年日本黄檗宗の開宗を許可されました。現在の場所に本家中国と名前も同じ、黄檗山萬福寺が完成するのは1680年代のことです。黄檗山萬福寺はあつゝ加護を受けた徳川の家紋を寺紋としますが、門などは典型的な中国式ですし、また南洋から輸入したチークを使った京都でもユニークなお寺です。

さて黄檗とは 学名: *Phellodendron amurense* (アムール産のコルクの木)、和名キハダ、樹高約25メートル、樹幹直径約1メートルに達するミカン科の落葉高木です。剥離直後の内皮が鮮やかな黄色を呈することからこの名がつけました。内皮にはベルベリンや少量のパルマチンというアルカロイドを含んでいて大層苦く、古来より健胃、利尿の有名な漢方薬です。350年の歴史のロマンをかき立てるご当地の樹。萬福寺境内や、宇治キャンパスに6本植栽されています。



大学院農学研究科 教授 杉山 淳司